

## 福島県県外避難者に対する地方新聞提供支援についてのアンケート結果

日本図書館協会東日本大震災対策委員会

2012年3月27日

日本図書館協会東日本大震災対策委員会では、2011年11月から2012年3月まで、福島県県外避難者に対する地方新聞提供支援を実施しました。

この支援事業は、公共図書館において年度途中からの新聞の新規タイトル購入が困難な事情を考慮し、全国の公共図書館に希望を募って、「福島民報」「福島民友」各25部(50館分)を東日本大震災義援金を活用して郵送購読の形により寄贈したものです。

このたび寄贈期間終了にあたって実施したアンケート結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

アンケート期間 2012年2月22日(水)～3月11日(日)

回答館 44館

### 1. 貴図書館が寄贈を受けている紙名

A 福島民報...21館

B 福島民友...23館

### 2. 日本図書館協会から寄贈を受けている新聞以外に、東日本大震災以後に避難者支援として新たに購入、または寄贈を受け提供している地方紙がありますか。

A 購読紙がある...3館

紙名:(河北新報2館 福島民報2館 岩手日報1館)

B 寄贈を受けている新聞がある...4館

紙名:(福島民報2館 福島民友1館 石巻日日新聞1館 紙名記載無1館)

C ない...38館

### 3. 利用方法 複数回答可

A 館内閲覧...44館

(注記あり1館...避難者の数が数名ながら多く貸出等利用が多い館に新しい新聞をおよそ1週間バックナンバーを置くというかたちにしました)

B 貸出...1館

C その他...2館(災害関係の2次資料作成保存のため1館)

### 4. PR方法 複数回答可

A 館内掲示...38館

B 自治体の広報紙...11館

C 図書館の広報紙...12館

D ホームページ...32館

E その他 … 9 館

(駅や避難所付近の市民センターに掲示、福島県からの避難者の方へ書名による情報提供を実施、避難者向けの広報紙、市が発行する避難者向け情報誌、区の危機管理室をとおして避難者へ図書館広報紙 - 福島民報の記事を載せた号 - を配布してもらう、昨年 11 月に戸籍住基課より避難者名簿を文書請求により借りて世帯全員に図書館利用案内や福島民友閲覧の周知を郵送した、ツイッター、避難世帯に直接文書を送付した)

5. 利用状況 (利用頻度)

- A ほぼ毎日利用がある …10 館
- B 時々利用されている …25 館
- C あまり利用はない … 6 館
- D 利用はほとんどない … 0 館
- E はじめより利用が増えてきている … 1 館
- F はじめは利用があったがだんだん減ってきている … 1 館
- G 不明 … 1 館

6. 利用状況 (利用者) 複数回答可

- A 避難者 …19 館
- B 市民 …27 館
- C 市外からの利用者 … 7 館
- D 自治体職員 … 5 館
- E その他 …17 館

(支援者NPOなど、自由に手にとっていただけのため不明)

7. 避難者数の変化 (寄贈開始の 11 月以降)

- A 避難者数は増えてきている … 8 館
- B 避難者数に変化はない …13 館
- C 避難者数は減ってきている … 9 館
- D 不明 …14 館

8. 避難者支援として平成 24 年度に購読、または寄贈を受ける予定の地方紙がありますか。

複数回答あり

- A 購読紙がある …12 館  
紙名：(岩手日報 1 館、河北新報 2 館、福島民報 10 館、福島民友 2 館 )
- B 寄贈を受ける新聞がある …8 館  
紙名：(石巻日日新聞 1 館、福島民報 5 館、福島民友 4 館 )
- C ない …25 館

9. 利用者からのご意見・ご感想がありましたら、ご記入ください。(自由記入)

・福島から実家ということで避難？居住？して来ているので、うれしいと言われてい

ます。また、市民も閲覧している風景をよく見るので、興味は多いと思います。

- ・「福島の新聞を読むことができ嬉しい。」
- ・「図書館へ行ったら「福島民報」が取り扱われていた。ありがとう。」
- ・「地元紙を見ることができて大変うれしい。」
- ・「地元の情報を知ることができてありがたい。」
- ・「息子が福島市内の学生で、心配な毎日です。紙面を見ては、一喜一憂しています。県内と外との温度差を感じます。」
- ・「例えば、3月4日、松田教授の年間6.5ミリシーベルトのマンション室内は、本当に人体に影響のない、はるかに低い放射線量なのでしょうか？」
- ・利用者(福島県からの避難者)からカウンターの職員に直接御礼を言われました。「故郷の新聞を見られて、正直驚きました。ありがとうございます。」
- ・福島民報バックナンバーの問い合わせ
- ・福島民友の所蔵についての問い合わせ
- ・カウンターに福島民友はいつまであるのかという問い合わせがありました。
- ・閲覧チェックはしていないので、利用状況は把握していませんが、関心をもっている方がいらっしゃることは確かです。
- ・「被災地の様子を知りたい時、読むことができ有難い。原発コーナーや今日のセシウム値というようなコーナーは設けないのですか？」
- ・窓口で、市民から「図書館が被災地の情報提供をするのはよいことだ」というご意見をいただきました。
- ・「どのくらいの期間置いているのか?」「どういう経過で置くことになったのか?」などのお問い合わせがありました。また、寄贈を申し込む前の「10月の新聞が見たい」という方もいらっしゃったので、もっと早く申し込んでおけばよかったと思いました。
- ・「福島民友」を寄贈いただき、利用者の方からも大変喜ばれました。ありがとうございました。

#### 10. 福島民報社、福島民友新聞社へお伝えしたいことがありましたら、ご記入ください。

(自由記入)

- ・新聞をご覧になった避難者の方は、地元の復興の進捗状況や年中行事が力強く行なわれている様子を知って元気が湧いたと思います。市民も福島のことを知るよい機会になったと思います。
- ・貴重な資料をご提供いただきありがとうございました。
- ・地元紙として、これからも、頑張って情報を流していただきますようお願いいたします!
- ・避難者の方へはもちろん、その他の利用者の方への情報提供にも役立てることができました。寄贈並びにご送付頂けたことを心より感謝申し上げます。

- ・何かとご苦労が多いかとお察ししますが、避難先でも楽しみにされている方々がいらっしゃると思いますので、今後とも頑張ってください。
- ・1年たちましたが、これからの支援が大切だと思います。何らかの形で支援できればと考えます。
- ・避難者の方だけでなく、市民の方々も興味を持ってご覧になっています。これからも復興にむけて、心を一つに頑張っていきましょう。
- ・読者の立場に立った、正確できめ細やかな情報をありがとうございます。今の努力はなかなか報われないのかもしれませんが、百年後の人々はきっと賞賛してくれると思います。報道のできる正義感を強く感じます。
- ・区内にも福島県からの避難者が都住などに大勢住んでいて、図書館も区民と同じように利用していただいております。また、区は福島県福島市、同桑折町、同石川町、同二本松市（旧東和町）、同小野町、岩手県釜石市ほかと交流都市提携しており、今後も復旧支援を継続して取り組んでいきますので、風評被害等を跳ね返してぜひ頑張ってください。応援します。
- ・こちらの図書館でも避難してきたという方の登録がありました。故郷を離れた方々に、地元の情報はきっと励みになると思います。
- ・被災地から遠い地域にありますが、被災地の地方紙を提供して頂いたおかげで、詳細を知ることができるようになりましたので感謝しております。
- ・避難者に対して情報提供という支援ができ、こういった機会を提供いただきましたことに感謝しております。ありがとうございました。
- ・これからも継続して被災地の復興の様子を伝えていただければと思います。

#### 11. その他、ご意見・ご感想、来年度以降の支援ご予定等。（自由記入）

- ・当初、一時避難者に新聞の事を説明しても積極的に見に行くことを避けておられる方が見受けられた。これは厳しい現実からの逃避と思われるが、その後一般の利用者も含めて閲覧者は徐々に増えている。
- ・この度は、寄贈いただきありがとうございます。他県の新聞は、目にする機会が少ないので、いつも新聞を閲覧に来る方々も興味深く見ていたように感じます。
- ・新聞をご寄贈いただき誠にありがとうございます。こちらに避難されている方の心の支えに、図書館が役立てることができればと支援コーナーを設けておりましたところへのご寄贈のお話でしたので大変嬉しく存じました。
- ・当館では、取り敢えず4月から1年間の購入購読をすることとしたが、日図協には引き続き寄贈支援していただけるとありがたい。
- ・4ヶ月間ご寄贈いただき、感謝の念に堪えません。4月からは直接購読いたします。
- ・早い段階で福島県から避難された方が来館されました。当館を福島県の現状を伝える紙面は当地におきましても貴重な情報です。寄贈ありがとうございます。感謝しております。今後も福島民報があることを広くPRしていきます。

- ・少ないながらも、利用や反響がありました。ご寄贈感謝いたします。続けてご寄贈いただければとてもうれしいのですが・・・でもこれまで寄贈いただけただけでも幸いでした。本当にありがとうございました。
- ・来年度以降も新聞提供支援を受けられるとありがたいです。
- ・引き続き震災関連コーナーは設置予定
- ・4月以降に購読の予定はないが、当分は新聞を保管して閲覧対応して行く予定。
- ・4月以降も図書館として郵送購読を継続していくこととなりました。貴協会からのご支援感謝申し上げます。
- ・来年度の予算は、全体で4割強カットとなるので、運営が苦しい状態です。
- ・避難者数に変化がなく、図書館利用も多いことから、来年度も引き続き寄贈を希望いたします。
- ・福島民友をご寄贈いただき、有難うございました。避難者だけでなく、市民でも興味をもつ人があり、大変貴重な情報源となりました。
- ・今後も図書館として出来る避難者支援とは何なのか考慮していきたい。
- ・来年度は市役所のほうに寄贈していただく福島民友を、図書館に閲覧用で引き続き置かせていただく予定です。
- ・来年度以降についても市民と同様のサービスを受けられるように支援していきます。
- ・市の職員が被災地支援のために派遣された人数：449人（3月末の見込み）  
業務：緊急消防援助隊，応急給水，罹災証明発行業務，土木災害復旧業務 他  
今後の支援 来年度，土木災害復旧業務及び住民税賦課業務に各1人派遣予定
- ・地元の雰囲気分かって大変よかった。
- ・新聞をご寄贈くださり，ありがとうございました。今後も情報提供など，図書館ができる支援に積極的に取り組んでいきたいと考えています。
- ・福島県から避難されている方が、大勢いらっしゃいますので、新聞のご寄贈は大変ありがたかったです。本当にありがとうございました。
- ・福島県からあるいはそれ以外の県からも来られた方も少ないとはいえ、いらっしゃいますので、なにかしなければと思ってはいるのですが、支援についてはまだ検討中です。もし、なにか貴協会御計画でいらっしゃるなどがありましたら、またお知らせいただければありがたいです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- ・3月に災害、防災関連の図書展示、被災地4県の観光PRをパンフレット等で行います。

**アンケート回答本文以外に、メールでいただいたご意見・ご感想。**

- ・逐次刊行物の年度途中での受け入れは組織的に困難でしたので、日本図書館協会のこのたびのご配慮に感謝しております。

- ・おかげさまで、住民が閲覧する姿を見ることができました。
- ・「福島民友」を寄贈いただき、利用者の方からも大変喜ばれました。ありがとうございました。